

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	精神看護学援助論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	池田 秀幸	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
精神医療における入院環境と治療的アプローチについて患者の自立・回復を促すための支援方法を学ぶ。						
演習参加状況、レポート課題提出状況、小テスト、並びに筆記試験で総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学①、精神看護の展開 精神看護学② 医学書院 系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 医学書院 精神看護学Ⅰ 精神看護学、精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 ヌーベル ヒロカワ ナーシンググラフィカ32 情緒発達と看護の基本 精神看護学 メディカ出版						
《授業外における学習方法》						
インターネットや他業者の教科書参照						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	精神科における看護の役割について説明できる	精神看護学の基礎 テキスト、資料	精神科における入院につ いて調べる	
		各コマに おける 授業予定	1)入院治療の意味を理解する ①患者にとっての入院体験 ②入院の仕方 ③入院治療の目的 ④患者のアセスメント			
第 2 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	治療的環境をつくる必要性を説明できる	精神看護学の基礎 テキスト、資料	精神科における環境につ いて調べる	
		各コマに おける 授業予定	1)治療と環境 2)治療的雰囲気 3)治療共同体 4)治療的環境と看護師			
第 3 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	安全を守る必要性について説明できる	精神看護学の基礎 テキスト、資料	教科書を復習する	
		各コマに おける 授業予定	1)安全な環境をつくる 2)リスクを最小限にする 3)自殺 ④)暴力			
第 4 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	回復を助けることの必要性について説明できる	精神看護学の基礎 テキスト、資料	精神科リハビリについて調 べる	
		各コマに おける 授業予定	1)治療と回復 2)精神科におけるリハビリテーション 3)回復をささえるさまざまな方法4)回復のビジョン			
第 5 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	身体をケアする必要性について説明できる	精神看護学の基礎 テキスト、資料	薬物、電気痙攣療法につ いて調べる	
		各コマに おける 授業予定	1)精神科における身体のケア2)身体に現れるこころの痛み3)精神科の治療と身体のケア ①向精神薬の有害反応 ②電気痙攣療法の看護			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	日常から気をつけておきたい身体合併症について説明できる	精神看護学の基礎 テキスト、資料	教科書を復習する
		各コマにおける授業予定	1) 患者の回復段階ごとの身体へのアプローチ、2) 日常生活における身体ケア		
第7回	講義 形式	授業を通じての到達目標	日常から気をつけておきたい身体合併症について説明できる	精神看護学の基礎 テキスト、資料	PTSDについて調べる
		各コマにおける授業予定	1) 睡眠の援助 2) 心的外傷を持つ患者への身体ケア		
第8回	講義 形式	授業を通じての到達目標	まとめ(テスト含む)	精神看護学の基礎 テキスト、資料	テストでできなかった項目を調べる
		各コマにおける授業予定	1) まとめ		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			